

令和3年12月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書

(通告者 13名)

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1	1 マイナンバーカードの取得推進について 2 地域公共交通体系の見直しについて	1 番 菊地 昌夫 (1) マイナンバーカードについて、市内の取得者数の状況をどのように捉えているか伺う。 (2) 職員の取得促進や出張申請の推進など、マイナンバーカード普及への取組を強化すべき。 (3) 市独自の自治体マイナポイント事業を実施すべき。 (1) 名取市総合交通に係る地域公共交通体系の見直しについて、より多くの市民ニーズに応えられる地域公共交通体系は、具体的にどのようにあるべきと捉えているか。 (2) 多くの市民が利用したいと思う公共交通の在り方について、より多くの市民を対象に詳細なアンケート調査を行うべき。 (3) デマンド交通導入に当たっては、高齢者や障がい者等、社会的弱者の方々が、安心して移動できる交通手段とすることを優先目的とすべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
2	1 館腰公民館の建替えについて 2 急傾斜崩壊危険区域における避難活動等について	1 3 番 佐々木 哲男 (1) 館腰公民館の建替えについて、仙台空港24時間化に係る地域振興策においては、現在、令和5年度中の開館に向けて進めている下増田公民館建替えのスケジュールを勘案し、建替え場所の選定など地域と相談しながら進めるとしている。下増田公民館の進捗状況等について伺う。 (2) 場所の選定については、指定避難所や雨水排水等の課題もあり、地域との合意形成を図る上でも早期に地元と調整するなど、余裕を持ったスケジュールで進めるべき。 (1) 本市における急傾斜崩壊危険区域は、113箇所指定されているが、地震災害時における地域住民への避難指示を発令する基準をどのように定めているのか。 (2) 神奈川県逗子市では、斜面崩落により女子生徒が犠牲となった事故を教訓に、崖地の傾斜の進行など、崩落の予兆となる地表の変化を計測し、異変があれば市職員等に自動通知するシステムの実証実験を2021年6月に民間企業4社の協力で始めた。本市においても導入に向けた検討をし、地域住民をより速やかに避難させるための方策を講ずるべき。	市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 市 長	
3	1 河川環境の整備について	1 9 番 山田 龍太郎 (1) 名取市熊野堂、太白大橋上流名取川河川敷への「水辺を利用した公園づくり」について、国への働きかけも含めて、その後の経過を伺う。	市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	<p>2 緑化行政について</p> <p>3 名取駅東地区にぎわい再生計画について</p>	<p>(2) 増田川の増田橋から東に下って増田川第二水管橋までの堆積土砂のしゅんせつ工事の取組について、しゅんせつする間隔を短くして多量に土砂が堆積する前に処置するよう県に働きかけるべき。</p> <p>(3) 増田川の上流で用いられている低水路工法で水の流れを確保すれば、隔年で土砂のしゅんせつをするよりも結果的には経費の削減になると考えるが見解を伺う。</p> <p>(4) 県においては、地域住民と一体となって課題解決に取り組む「地域協働事業」がある。これはワークショップを立ち上げ、事業の中身を決め、県が整備を行っていくもので、このような手法を用いて増田飯野坂橋から増田川第二水管橋までの間に親水公園を整備すべき。</p> <p>(1) 東日本大震災の後、閑上の新しい街には様々な施設や道路、公園、スポーツ施設とグラウンド、墓地公園等が新しく整備された。美田園、杜せきのした、山手の団地における街路樹、公園の芝生、その維持管理は増えていく。無秩序な緑化にならないために将来を考えて造園の資格と技術を持った専門の職員を採用すべき。</p> <p>(1) 名取駅東地区の駅前商店街に人を呼び込み、地域のにぎわいを再生する取組が今一度求められるとして、再生計画（令和3年度～令和4年度）が進められようとしているが、名取市中心市街地活性化基本計画との違いは何か。再生計画の対象地域と面積を伺う。</p> <p>(2) 対象地域の関係者の意見を集約し、実現可能な計画となるよう取り組むべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
4	<p>1 高齢者の難聴対策について</p> <p>2 高齢者のもの忘れ検診について</p>	<p style="text-align: center;">3番 笹森 波</p> <p>(1) 高齢者の中には、加齢に伴う難聴などで聴力低下がみられる方が少なくない。難聴は認知症の危険因子の一つと言われており、早期からの対応が重要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>(2) 高齢者の難聴の早期発見のためには、聴力検査が重要である。特定健康診査の項目に加えるべき。</p> <p>(3) 早期からの補聴器の使用により、高齢者の生活を支援し社会参加を促進するため、高齢者補聴器購入助成制度を導入すべき。</p> <p>(1) 本市における認知症の早期発見・早期治療及び認知症予防に向けた取組について伺う。</p> <p>(2) 認知症の早期発見・早期治療につながる、もの忘れ検診を特定健康診査に追加すべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
5	1 クリーン キャンペーンの 取組について	<p style="text-align: right;">12番 大友 康信</p> <p>(1)市内の町内会による地域の清掃活動など、開催されている時期や回数など実績を捉えているところがあれば伺う。</p> <p>(2)企業や事業所などの団体等による市内のクリーンキャンペーンなどの社会貢献イベントについて、実績などを捉えているところがあれば伺う。</p> <p>(3)宮城ビーチクリーンキャンペーンのような宮城県内で開催されてきた様々なクリーンキャンペーンやイベントなどに対して、これまでどのような協力体制を取られてきたのか具体的な取組があれば伺う。</p> <p>(4)ごみ拾いをスポーツとして競うスポゴミ大会が日本各地で開催されている。社会奉仕活動とスポーツを融合させることで参加者の環境美化に対する意識の向上と運動不足解消ができる画期的な企画がある。スポゴミ大会の開催に向けて検討すべき。</p> <p>(5)PTA活動や青少年健全育成会などの活動において、現在もクリーンキャンペーンは行われているが、地域学校協働活動に参加する団体などに対して、スポゴミ大会について周知を行い検討を促すべき。</p>	市長 市長 市長 市長 教育長	
6	1 交通安全施 策について 2 障害者福祉 施策について 3 子供の貧困 対策について	<p style="text-align: right;">7番 大久保 主計</p> <p>(1)第11次名取市交通安全計画策定に向けて、本市独自の取組について伺う。</p> <p>(2)関係団体でそれぞれ把握している危険箇所の地図情報化に取り組み、交通安全対策を推進すべき。</p> <p>(3)信号機のない横断歩道のカラー舗装に取り組み、特に児童生徒の交通事故防止の強化を図るべき。</p> <p>(1)地域の相談支援業務充実強化のための基幹相談支援センター設置に向けたスケジュールを伺う。</p> <p>(2)名取市障害者計画、名取市障害福祉計画及び名取市障害児福祉計画を一体的に策定し、障害者福祉施策の総合的かつ横断的な取組を進めるべき。</p> <p>(1)子供支援に係る福祉と教育を組織的に融合して相談窓口を一つにまとめ、国が進めるデータベース化施策を活用した情報一元化により、一貫した見守りシステムを構築し、子供の貧困対策に取り組むべき。</p>	市長 市長 市長 市長 市長 教育長	
7	1 負担感の少 ない国民健康保 険税について	<p style="text-align: right;">8番 齋 浩美</p> <p>(1)財政調整基金を活用し、国民健康保険税額を見直すべき。</p>	市長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
9	<p>1 農業問題について</p> <p>2 農政・農地利用について</p> <p>3 均衡ある市土について</p>	<p style="text-align: right;">17番 郷内 良治</p> <p>(1)本市の産業として一次産業をどのように位置づけよう捉えているのか伺う。 (2)令和3年産米概算金下落についてどのように捉えているのか伺う。 (3)今後も米価下落が続く場合、早急な対策が必要と考えるが今後の考え方を伺う。 (4)離農者が増えているが担い手の確保と育成についてどう考えているか伺う。 (5)農家の所得向上につなげるため、6次産業化等の促進を図るべき。</p> <p>(1)農地転用についての要件緩和を国、県に働きかけるべき。 (2)農業委員会が今後の本市の農業について農業関係団体と話し合い、離農者からの農地の引受けなど農用地の利用調整を積極的に推進し、地域の農業の振興について連携しながら方向性を探るべき。</p> <p>(1)愛島台に通じる市道道祖神愛島台線の整備が進んでいるが、川内地区住民の安全確保のため、市道箕輪二ツ森線への接続について優先して検討すべき。 (2)五社山を生かした自然野外活動センター建設を考えるべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長 農業委員会 会長 市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>農業委員会 会長 農業委員会 会長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
10	<p>1 交通指導隊の組織と運営について</p> <p>2 ゼロカーボンシティ宣言について</p>	<p style="text-align: right;">10番 吉田 良</p> <p>(1)名取市交通指導隊員設置要綱に班や役職など組織の編成を明記すべき。 (2)正副隊長及び班長は、隊員の推薦する者のうちから市長が適当と認める者を充てるなど、選任方法を明確にすべき。 (3)出動手当の支給対象となる活動にはどのような内容のものがあるのか、詳細を伺う。 (4)交通安全教室を実施する際に使用される小道具などの製作・購入にかかる費用は、必要性を吟味した上で市が負担すべき。</p> <p>(1)なとり環境フェスタで宣言するまでに検討された内容や経緯について伺う。 (2)行政・市民・企業等が一体となって参加できるノーマイカーデーの設定を検討すべき。 (3)路線バスなどの公共交通事業者やタクシー事業者に対し、アイドリングストップへの協力要請や、環境に優しい車両の導入促進などに取り組むべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
		<p>(4) 公共事業の発注先や業務委託先の事業者に対し、工事や業務における二酸化炭素の排出抑制への協力を要請すべき。</p> <p>(5) 食品廃棄物をごみとして処分せず発電や炭化などに活用する技術について、市内での導入を促進すべき。</p> <p>(6) 道路の凍結対策や学校給食の調理において「CO2フリー塩田」で生産された塩を原料とする商品を積極的に使用すべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長 教育長</p>	
1 1	<p>1 建築基準法の告示基準の改正について</p> <p>2 給水スポットについて</p> <p>3 ハイリー・センシティブ・チャイルド（HSC）について</p>	<p style="text-align: center;">15番 菊地 忍</p> <p>(1) 令和4年1月1日以降に建築物を新築等する場合は瓦屋根について強風対策を講じる必要がある。既存住宅には適用されないが被害の未然防止のため改正後の基準に沿った対策を講じるよう周知を図るべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 令和3年度より長期優良住宅化リフォーム推進事業の支援メニューが追加され、防災力の向上として瓦の交換工事も補助対象になった。本事業の周知を図るべきと考えるがどうか。</p> <p>(1) 熱中症の予防やペットボトルの削減のため公共施設にボトル給水型を併設した給水機の設置を進めるべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 民間施設へのボトル給水型を併設した給水機の設置を促し市内の給水スポットが分かるマップを作成すべきと考えるがどうか。</p> <p>(1) 「音や光、においに敏感」「気を使いすぎて疲れやすい」など、人一倍繊細な特性を持つ子どもは「ハイリー・センシティブ・チャイルド（HSC）」と呼ばれ、5人に1人が該当するとされている。不登校の原因になっている可能性があるがどのように認識されているのか伺う。</p> <p>(2) 教職員への研修や、保護者や地域住民への啓発などHSCへの理解を深めることが必要と考えるがどうか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	
1 2	1 民地のごみ問題について	<p style="text-align: center;">5番 板橋 美保</p> <p>(1) 市内の市有地・民地に放置されたごみの対応について伺う。</p> <p>(2) 熊野堂地区の民地に放置されたごみの対応経過を伺う。</p> <p>(3) 近隣住民が迷惑しているので、早急に対応すべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 消防団の現状と課題について	(1) 消防団員数の現状について伺う。 (2) 消防団の担い手の確保についてどう考えているのか伺う。 (3) 地域とも連携しながら団員を確保すべき。	消防長 消防長 市 長 消防長	
	3 電子書籍について	(1) 図書館の電子書籍の導入について、検討はされたのか伺う。 (2) 図書館に児童・生徒向けの電子書籍から導入を始めるべき。	教育長 教育長	
1 3	1 冬季灯油代・暖房用燃料費助成について 2 県立がんセンター・県立精神医療センターを含む4病院統合・連携について	16番 小野寺 美穂 (1) 原油価格高騰の状況をどう捉えているか。 (2) 生活困窮者等に対し、冬季灯油代・暖房用燃料費を助成すべき。 (1) 宮城県の地域医療構想についてどのように捉えているか。 (2) 令和3年9月15日の緊急質問にて見解を問われた際「本市にある精神医療センターが市外に移転する可能性が出てきたことについては、がんセンターと同じく本市と共生してきた医療機関であり、残念に思う一方、がんセンターが本市に存置される可能性が残ったこともあることから、県の方針については評価をしたい」との答弁がなされた。真意を伺う。 (3) 令和2年9月25日付で知事へ提出した「宮城県立がんセンターと連携・統合する医療施設の立地に関する要望書」について、その中に記載されている提供可能な市有地とはどこか伺う。 (4) 県立精神医療センターの移転についての市民の声をどう捉え、住民合意についてどのように考えているのか。 (5) 医療は命に直結した重要課題である。経済的論理のみで解決すべき問題ではない。少なくとも本市内において医療に関わる人々、患者さん、その家族の声なき声に耳を傾けるべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	